



Title	令和元年度夏季英語短期語学留学アンケート結果
Author(s)	古村, 由美子
Citation	長崎大学言語教育研究センター論集, 8, pp.54-69; 2020
Issue Date	2020-03-01
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10069/39829">http://hdl.handle.net/10069/39829</a>
Right	

This document is downloaded at: 2020-10-28T06:04:47Z

## <事業報告 2>

### 令和元年度 夏季英語短期語学留学アンケート結果

研修期間:2019年8月31日(日)~9月21日(日)

研修地:デラウェア大学付属イングリッシュ・ランゲージ・インスティテュート  
(アメリカ合衆国・デラウェア州ニューアーク)

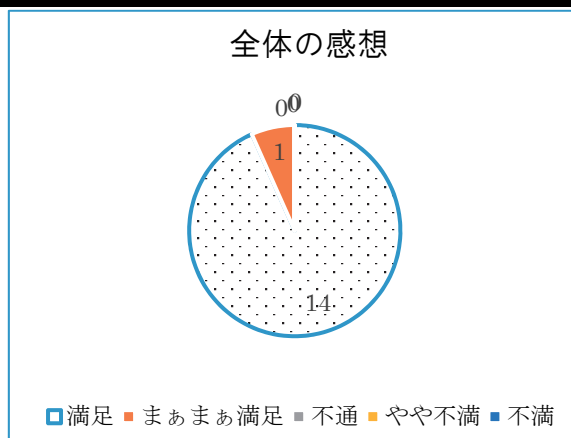
参加者:学部生18名

実施主任者:古村由美子

帰国後に本研修参加者のみなさんにアンケート調査をした結果を報告いたします。紙面の都合上、一部を抜粋しております。

#### 1. 研修全体の感想

満足	14名
まあまあ満足	4名
普通	0名
やや不満	0名
不満	0名

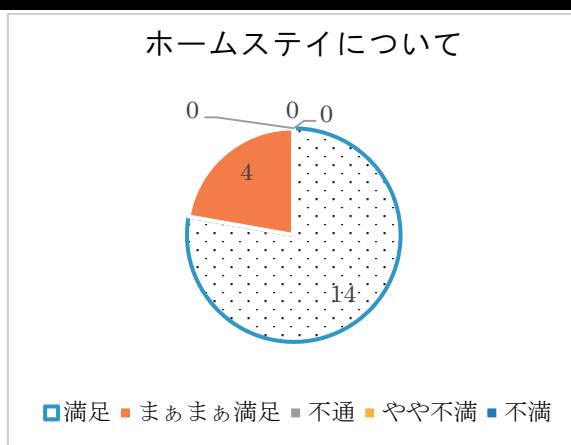


- ◆ 授業も楽しく、アクティビティもいろいろ用意してくださり、英語をよく使うことができ有意義だったと思います。
- ◆ ホームステイ先の方にもとても親切に接していただいたし、授業は面白いし、ニューヨークなどの小旅行もついているし、非常に満足することができる留学になった。
- ◆ 全体的に良かった。
- ◆ いろいろな国の人と仲良くなれ、英語だけではなく、アラビア語、スペイン語も学ぶことができた。さらに、ムスリムの方と仲良くなり、イスラム教についても学ぶことができた。今回の留学で得たことは大きく、これからも留学で得たことを発揮するとともに、次の留学のために語学を極めていきたい。

- ◆ 授業が午前中だけだったのですが、ほぼ毎日午後から予定が組まれており、フリーの時間が少し少なかったかなと感じました。しかし、とても充実した時間を過ごすことができ、楽しかったです。参加してよかったです。
- ◆ 英語という自分にとっての第二言語を使って生活することは非常に大変でありながらも楽しかった。内容が濃いプログラムであり、全体として満足しているが、午後の activity がよく決められていたので、英語を話す機会を増やす時間として少し自由時間も欲しかった。三週間という短い期間であったが、これからの大学生活または卒業後の自分の進路なども考えることができる良いプログラムだと思う。
- ◆ アメリカ式の授業を受け、自分の刺激になった。添削、指示等も細かく自分の実力向上に繋がったように思う。
- ◆ 現地の人と会話できたが、もう少し時間が欲しかった。
- ◆ 留学中に大学内の様々なアクティビティを用意してくださり、初対面の UD の生徒とコミュニケーションをとる機会が多くあったのがよかった。
- ◆ デラウェアでの生活で、ホストファミリーやいろんな国々の学生と交流する中で、英語の利便性や重要性に気づくと共に、自分の英語力の低さも痛感した。今後の英語学習のモチベーションを維持する上でとてもいい経験になった。

## 2. ホームステイについて

満足	14名
まあまあ満足	4名
普通	0名
やや不満	0名
不満	0名

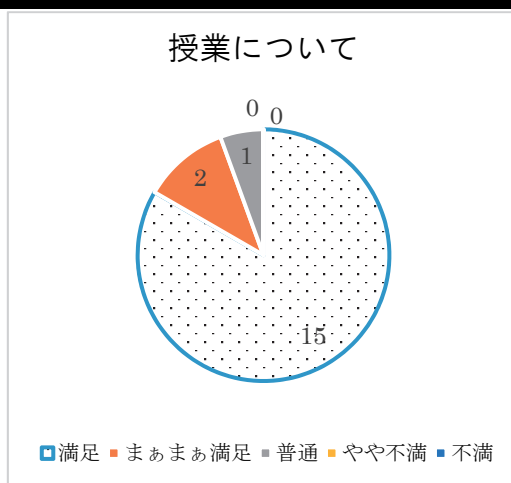


- ◆ 二回目ですが、やはり話しやすく楽しかったです。ただ、休日にごにもいかず家にずっといるだけなのは少し寂しいなと思います。
- ◆ ごはんや部屋などについては満足だったが、休日の過ごし方がほかのホームステイ先のところはニューヨークやフィラデルフィアなど、個人的に連れて行ってもらえていてとても羨ましかった。
- ◆ 全体的に良かったが、アメリカ出身のホストファミリーの方がよりリアルなアメリカの生活というのに触れることができると思った。

- ◆ ステイ先は他とは少し違って大変面白かった。なかなかできない体験をいっぱいすることができ、よかったと思う。
- ◆ 最初は、言葉がなかなか通じないと緊張もあり、少しぎこちなかったのですが、3週間後には、帰りたくないと思えるくらいになりました。大満足です。
- ◆ ホストマザーが他の人とも交流させてくれて、本当にいい経験になった。
- ◆ ホームステイ先によってアメリカの人や違う国からやってきた人が受け入れており、自分は違う国からやってきた人の元でホームステイをさせてもらった。ホームステイ先の家族はみんな優しく、生活しやすかったが、彼らが母国語(英語ではない)を話していることも多々あったため、自分としてはもっと英語を聞き、英語漬けの生活をしたかった。
- ◆ アメリカの暮らしを実際に体験出来た。食事、会話、旅行全てが楽しくかけがえのない思い出になった。
- ◆ ご飯が美味しく、ゆっくり英語を話してくれた。
- ◆ 食事や部屋、またコミュニケーションに関しても満足なほどもてなしてくれた。週末などモールや教会等に連れて行ってきてくれて様々な経験もできた。また、わざわざ日本食をつくってくれたことはとても感動した。
- ◆ とてもやさしく、会話も楽しかった。ひとつも不満はない。
- ◆ 前半の週はしっかり会話をしたり、面倒をみてくれたが、後半は前半と比べ、扱いが雑だった。

### 3. 学校での授業について

満足	15名
まあまあ満足	2名
普通	1名
やや不満	0名
不満	0名



- ◆ とても満足です。他の留学生もやさしく、レベル別なので先生の言っていることもしっかり理解することができ有意義でした。
- ◆ 長崎大学の授業は一方的に教授が話すことがほとんどだが、ELI は少人数で自分

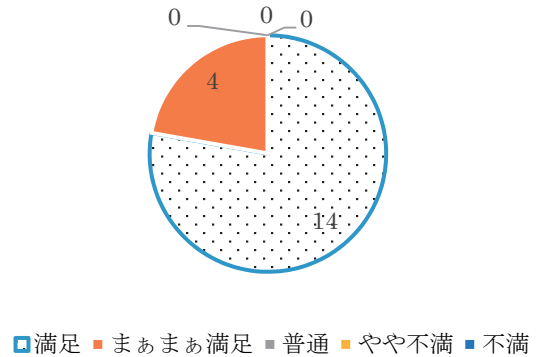
のレベルに合った授業を、周りの生徒と話し合いながら授業がすすむので、とても面白かった。90分より長い授業だったのに、とても短く感じた。

- ◆ 少人数クラスでやりやすかった。テストで決められた区明日の授業の難易度があとからあげられるのかが気になった。
- ◆ 課題も多くて大変でしたが、自分の英語力に合った授業でとても良かったです。
- ◆ 普段、参考書等ではなかなか知ることのできないことやエッセイの書き方など有意義な時間でした。また、先生も質問等しやすく積極的に参加することができました。
- ◆ 日本の受け身の授業と違って、生徒たちがどんどん発言して進む授業だったので、とても楽しかったです。大学の講義は眠くなることが多いのですが、デラウェア大学での授業はあっという間に感じました。
- ◆ アクティブラーニングが多くて楽しく受けることができたが、たまに眠かった。
- ◆ 州の中でも有名な大学の付属学校に通いながら世界各地から英語を勉強しにきている人と一緒に三週間クラスをとりにした。様々な国の人からクラスは構成されていたが、自分が思っていたより、アジア系が多かったことには驚いたが、みんな発言力があり、彼らの”自分の考えを主張する力”は見習わないといけないと力だと思い、勉強になった。日本とは全く違う授業形式であり、少数で授業を受け、議論をする機会も多く、また先生との距離も近かったため、このような感じの授業を日本にも導入したら授業を楽しむ人が増えるんじゃないかなと思った。英語を学びに来ている留学生との交流が多かったため、英語がネイティブであるアメリカの人ともっと交流をもちたかったが、自分から色んな場所で声をかけることでその点は少し改善できると思う。
- ◆ 他の国の人からインスピレーションを受けました。
- ◆ 指導が細かく、分かりやすかった。また、グループワークの重要性を知った。
- ◆ 100分があっという間に感じられました。少人数制なものもあるかもしれませんが、先生方もすごく気を配ってくださって、日本の授業もこのような授業であればいいのと思いました。
- ◆ UDの生徒と共に授業を受けてみたいと思った。
- ◆ 個人的に発音や文法の指導をしていただけて、自分の足りない部分や誤っている部分などよくわかる指導の仕方だった。他の生徒との会話は自分の英語のレベルの低さを実感させられた。

#### 4. 出発前のオリエンテーションについて

満足	14名
まあまあ満足	4名
普通	0名
やや不満	0名
不満	0名

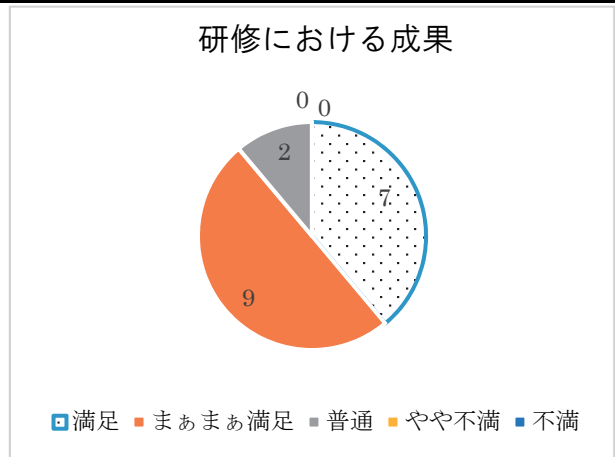
出発前オリエンテーションについて



- ◆ 十分。
- ◆ 不安なことがたくさんあったが、オリエンテーションをするたびに不安が消えていったので良かった。最初は、少しオリエンテーションの数が多いのではないかと考えていたけど、そんなことなくちょうどよかった。
- ◆ 海外渡航における注意点をしっかり話してくれて大変助かりました。おかげで無事に帰って来れました。
- ◆ 出発前からもっとみんなと仲良くなりたかったなと思ったので、オリエンテーションでもう少し交流の時間があればいいと思います。(ゲームをするなど)
- ◆ 現地のことについてや保険、持ち込めるものなど、大事な話がたくさんあったが、現地に行つてのプレゼンをどうするかや帰国後のプレゼンについての説明が多かった気がする。また、オリエンテーションが試験前にあったことでスケジュールを調整することが大変だった。
- ◆ 意欲が湧いた。
- ◆ 英語の授業を取り入れてほしい。
- ◆ グループの人と話せてよかった。
- ◆ 必要な持ち物など準備の段階で参考になる情報を多く提供していただけたことがよかった。

## 5. 自分自身のこの研修における成果について

満足	7名
まあまあ満足	9名
普通	2名
やや不満	0名
不満	0名



- ◆ 目的を達成することはできたと思います。
- ◆ 個人的な目標として、自分からいろいろな人に話しかけに行こうということを目指していた。前回海外研修に行ったときよりも話しかけることができた部分は良かったが、まだまだ怖がって話しかけられないことがあったので、もっと自分から積極的に動けるようになりたいと思った。
- ◆ 会話も中身のある会話ができるようになったし、自分の経験としてたくさんいいものが残った。
- ◆ 授業も午後の活動もホームステイも想像よりも充実していて参加して本当に良かったと思います。
- ◆ 自分が一番多くの外人さんと仲良くなりたくさん話し、たくさん学びました。満足ではないのは、もっと積極的に他人の目線等は考えずにもっと多くの人と話せたらもっとよかったかなと思うからです。次は、この後悔のないようにしたいです。
- ◆ 初めての海外ということもあり、何もかもが刺激的でした。この留学で、英語を話せるようになりたいという気持ちがとても強くなりました。
- ◆ このプログラムと共に参加した日本人の子以外とは英語で自分の考えを話していたため、英語全般に対する能力は上がったと思う。一周間目は、日本で聞く英語とは少し違うもののため、少し苦労したが、三週間目ぐらいになると英語に慣れてきて言いたいこともすっと出てくるが多かった。しかし、三週間という短い期間のプログラムのため、もっと英語と触れ合いたかったし、長く滞在してみたかった。ただこのプログラムのおかげで英語の重要性を認識できて、帰国してからも英語の勉強を頑張ろうと思ったのは、自分にとっての良い成果だと思う。
- ◆ 英語で外国人と話せました。
- ◆ アメリカに行き、様々な体験をすることで、たくさんの人に会うことで、精神的

にとっても強くなった気がする。これからは積極的に何事も動いていきたい。

- ◆ 英語力はもちろんですが、他国の文化も学ぶことができました。本当の意味で視野が広がったと思います。
- ◆ リスニングが向上したと思った。
- ◆ 英語がもっと話せたらよかったなと思っているから。
- ◆ 留学前と後でリスニングの能力は少し成長できたと思う。スピーキングに関して、まだまだ発音の至らない部分や根本的な単語不足など課題が多く見つけられたと感じる。海外の習慣に触れ、日本でのこれからの生活で参考にできる部分もいくつか見つけられた。
- ◆ 自分の力でできること、できないことが良くわかった。
- ◆ もう少し英語力を伸ばしたかった。

## 6. この研修に参加して最も「よかった」と思うことは何ですか？

- ◆ 英語を話すことに抵抗がなくなったこと。
- ◆ 学習意欲が湧いた。
- ◆ アメリカに行って様々な国の人と話せたこと。またそれによって SNS を交換したり海外の友達ができたと。
- ◆ 英語を磨くことを通じていろんな人と友達になれたこと。
- ◆ ネイティブスピーカーの友達ができたと。
- ◆ 様々なことを経験できたこと。チップを払ったり、ホームステイ先でアメリカンフードを食べることができたり、ニューヨークに行けたりと、今までしたことのない経験をすることができたことが一番自分にとって大きかった。2年連続で行く人がいるのもわかる気がするなと思った。
- ◆ アメリカの大学で他国の人と友達になったり、自由時間に充実した施設でいろんな経験ができたことがとても楽しかった。現地の日本人の先生がとても優しく柔軟な対応をしてくれて安心して生活できた。
- ◆ たくさんの仲間ができ、たくさんの話を聞き、自分の意識向上に繋がったこと
- ◆ ホームステイをしたことによって英語によるコミュニケーションの練習や、人の温かさに触れることが出来たこと。
- ◆ 海外の授業制度及び生徒の個性や考え方、海外の文化に触れることができたこと。
- ◆ ホストマザーがとても優しい方で本当によくしてもらいました。文化や言語の壁を越えた良い出会いだったなと感じています。
- ◆ 日本では経験できないことがたくさんできたこと。ホーステイでは日本と違った



環境で違う文化の生活をするのがとても楽しかった。また、ニューヨークやワシントン D.C.、フィラデルフィアにも行けて、ただの留学ではなく、人生においても忘れられない思い出を作ることができた。ぜひまた行きたい。

- ◆ 僕は一人でホームステイをしました。最初は不安でいっぱいでしたが、徐々に慣れていき、初めて自分の気持ちをきちんと伝えられたときはとても嬉しかったです。
- ◆ 日常的に英語を使い会話をし、また学べたことで実際に解く英語ではなくコミュニケーションをとるための実用的な英語を知り、また少しでもその力を身に付けることができたと感じることができました。
- ◆ これから英語を勉強していくための良いモチベーションをつかむことができたのが一番良かったと思います。
- ◆ 自分の力でできること、できないことがよくわかった。

## 7. この研修をより良いものにするため改善が必要と思われるところがあれば記入してください。

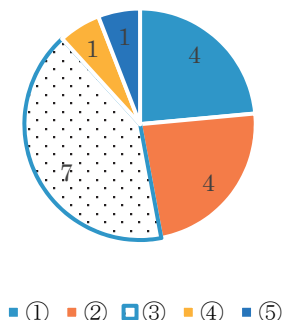
- ◆ 日本人で集まる時間を減らし、もっと現地の学生と過ごす時間をつくるべきだと思う。
- ◆ NY やワシントン D.C.観光は他の大学と同様に2日あった方が、余裕を持って見に行けた。また連絡が取れるように、全員 wi-fi がなくてもスマホが使えるように強制するべきだと思った。
- ◆ 放課後（午後）のアクティビティで、日本人とばかり絡むような機会が多かったので、もっと現地の学生と交流できる機会を設けてほしい。
- ◆ セントの使い方が最初わからなかったので少し学んでいきかけた。
- ◆ Japanese Culture Club の方へのプレゼンのためにお菓子を用意していたのに、プレゼンを行う教室が飲食禁止だったことを直前に知り、十分なプレゼンができなかったことが残念でした。もし来年も同じようにプレゼンをする機会があり、現地で実際に飲食を体験してもらおうような案が出てきた際には、その旨を伝えて欲しいです。
- ◆ 私のホームステイ先は大丈夫だったが、ホームステイ先によって当たり外れが激しいというのを友達から聞いた。
- ◆ 英語でのナチュラルな受け答えを学べて、自分自身も少しではあるが身に付けられたこと。
- ◆ ほんとに良い研修だったので改善は必要ないと思います。
- ◆ 英語でのコミュニケーションを心から楽しいと思えるようになったこと。

8. 今回異文化での生活を体験して、態度や物の感じ方が変化したのかについて質問します。  
A) 初対面の人に話しかけることはできましたか？

留学前

① 話しかけたくなかった	4名
② 話しかけたいができなかった	4名
③ 話しかけたいと思った3回に一度くらいは話しかけた	7名
④ 話しかけたが短い会話しかできなかった	1名
⑤ 話したいと思った人と十分に話せた	1名

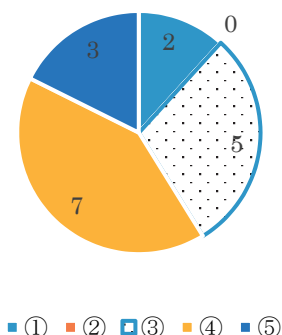
留学前



留学中(特に後半)

① 話しかけたくなかった	2名
② 話しかけたいができなかった	0名
③ 話しかけたいと思った3回に一度くらいは話しかけた	5名
④ 話しかけたが短い会話しかできなかった	7名
⑤ 話したいと思った人と十分に話せた	3名

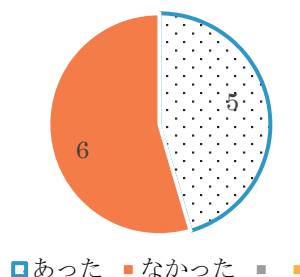
留学中



B) 留学中に困ったことはありましたか？また、その問題は解決できましたか？

あった	5名
→ 解決した	6名
→ 解決しなかった	名
なかった	11名

問題解決



◆ 大学が広すぎて道に迷い、ホストファミリーとの待ち合わせ場所に時間通りに行けなかった。

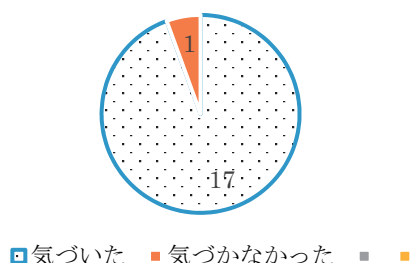
⇒ 歩いている現地の大学生に道を教えてもらった。  
また、ホストファミリーとも連絡を取り合った。

- ◆ 言いたいことがすっと出てこない。
  - ⇒ ある程度、頭で意識してわかりやすい英語でしゃべった。
- ◆ 地下鉄に乗るときカードをうまくスキャンできなくてゲートを通れないことがあった。
  - ⇒ 駅員さんみたいな人に事情を説明したら無料でゲートを通してくれた。
- ◆ 外食するときにメニューが読めない部分が多かった。
  - ⇒ 友達と話し合ったり、インターネットで調べたりした。

### C) 留学中にアメリカと日本の文化や習慣の違いに気づきましたか？

気づいた	17名
気づかなかった	1名

文化や習慣の違いに気づいたか



- ◆ お風呂は朝に入ることが多い。意見を尊重してくれる。
- ◆ アメリカではご飯を残したり捨てたりするのが普通であり、みんなそれに対して罪悪感や後ろめたさを感じていないようだった。
- ◆ レストランとかで料理を残すと日本ではマナー違反だがアメリカでは悪いマナーとみなされなかった。
- ◆ 会話が大事な文化なんだと強く感じた。お店に行っても、バスやタクシーに乗っても **Have a good day!** など、日本にいたときよりも、知らない人と会話する場面が多くあった。
- ◆ 食生活や、そもそもの生活をする上でのたくさんの習慣の違いを見つけることができた。例えば、朝起きた後のベッドメイキングなど。
- ◆ アメリカのものはとにかく大きかった気がします。レストランでハンバーガーを頼んだとき、その大きさにはとても驚きました。また、授業中にりんごやお菓子を食べている生徒がいるにも関わらず、先生たちは当たり前のように認めていて、日本と違い自由でいいなと思いました。
- ◆ 自分の意見をきちんと言うし、相手の意見も尊重する文化だなと感じました。またすごく自国を誇りに思っていて、だけど私たちのような他国民も受け入れてくれる！
- ◆ 一人一人が独立して物事を考え、失敗などをあまり気にしない性格に人が多いよ

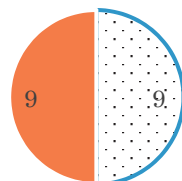
うに思えた。

- ◆ 食事は小麦を使ったものが多く、酸味の利いた調味料（ピクルスソース、スピナッチマヨネーズなど）が多かったように感じました。オーブンや食洗器がとても大きく、キッチン自体もとても広くて驚きました。また、夏ということもあり、衣服は日本人より露出の多いものが多く、女学生のほとんどはショートパンツで登校していました。体型に関わらず、人目を気にせず、自分の着たい服を着ている感じがしました。
- ◆ 服装の違いや食事の方法。クリスチャンは日曜日に教会に行っていた。
- ◆ 仲は良くても干渉はし過ぎないようにすることが重要だということ。
- ◆ 日本人は、他人に無関心というか知らない人とのコミュニケーションは最低限で壁があるようだが、アメリカでは道端でもふつうに話しかけジョークなどを言っていたりと、とてもフレンドリーに感じた。そういう面で、コミュニケーションがとりやすく良かった。
- ◆ 日本の人は真面目すぎるが、アメリカ人は良い意味で自由な人が多いなと思った。

#### D) 留学中にアメリカと日本の文化や習慣の中で類似していることに気づきましたか？

気づいた	9名
気づかなかった	9名

文化や習慣に関する類似点への気づき



- ◆ ご飯の前には手をあわせる。
- ◆ 愛想笑いをする。
- ◆ イベントを家族や親戚でお祝いすること。
- ◆ 留学に行く前、日本の「いただきます」をどう説明しようか悩んでいたのですが、実際にアメリカに行くと、食事の前にお祈りをしてから食べていました。食事に関して、いただいた命に感謝して食べる、という習慣が日本と類似していました。
- ◆ 日本と同じで、待ち時間などに携帯を触っている人が多かったです。電子機器などの便利なものは国を超えて、世界中の人々にとっても必要不可欠なものとして扱われていることに気づきました。

E) 英語が通じず(相手の言っていることが分からない、または自分の言いたいことが表現できない等)、もどかしく感じたことはありましたか？

- ◆ 自分の発音では通じないときがあったが、ネットで調べることができた。
- ◆ 授業で、与えられた時間英語で話し続けるときに、語彙不足を感じた。
- ◆ 店で何かを注文するとき正しく注文できなかったり、後ろに人が並んでいるとよくわからなくても頷いてしまうことがあった。
- ◆ 政治の話をするときです。
- ◆ 授業中のディスカッションのとき言いたいことがすらすら言えず単語とか短い言葉しか言えなかった。
- ◆ たくさんあった。まずチューターをしてくださった生徒の方と話すとき、なんて言っているのかわからないことがあった。特に多かったのはホームステイ先で、何か話しかけられても、何と言っているのかわからず、聞き返したりあいまいな返事をしてしまったりしたことが多かった。外食をしたときは特に、店員さんが早口だし英語を話せない自分にイライラしているしで、怖くて焦ったりして適当に YES と繰り返してしまったりした。
- ◆ なんで？って聞かれると答えに困ったことがあった。日本では理由は聞かないところでもなんで？って聞かれたのでどう答えていいのかわからなかった。
- ◆ L と R の発音が、自分では区別できているつもりだったのですが、実際は同じになっていたようで、それらが使われる単語はなかなか伝わらず、もどかしかったです。
- ◆ 家族との会話でもどかしい時があった。またプレゼンの時もうまくいかずもどかしく感じた。
- ◆ ゆっくり話してくれるとき意外は聞き取るのにとっても苦労しました。
- ◆ 相手が知らない単語とかあって部分的にしか話の内容がわからないことがあった。
- ◆ 店員が話しかけてきたとき、「何かあれば教えてください」といった後に何か質問してきた時に何か言っていたがわからなかった。
- ◆ ホストファミリーと買い物に行ったときほしいものが伝わらず何度も繰り返し聞かれた。店で、靴のサイズや細かい賞品の情報を伝えなかったが何回か誤解されて異なる商品を持ってきてくれたことがあった。講義中一つの単語がわからないだけで相手の言いたいことをあまり理解できずアクティビティが進まなくなったことがあった。
- ◆ 授業の時やホームステイ先、買い物をするとき。
- ◆ 他愛のない会話も、相手に物事を説明させて自分は聞くだけになってというように。コミュニケーションが一方的になってしまった。

F) 留学中に経験したこと(よいことでも悪いことでも)の中で最も記憶に残っている出来事は何ですか？

- ◆ 知らない人に道を尋ねて目的地に行けたこと。
- ◆ クラスの隣に座っていた人と英語とジェスチャーで話をして、最後は写真を撮るくらい仲良くなれたこと。
- ◆ デラウェア大学の **Japanese Culture Club** の人たちにやったプレゼンテーション。
- ◆ 最終日に友達と遊びにいったことですね。
- ◆ サウジアラビア人と話していたら急にお祈りを始めたことが印象に残っている。日本では宗教を信仰している人がほとんどいないしお祈りの習慣もないので驚いた。
- ◆ ニューヨークに行けたこと。日本ではありえない音量で街中で歌っている人がいたり、奇抜な服を着ている人がいたりして、ああ。自分が今まで見てきた世界はとても狭くて小さいものだったんだなあと思えた。
- ◆ ELI のアシスタントの大学生がみんな優しくて会話するのが楽しかった！
- ◆ ホストマザーが、私たちの名前の刺繍が入ったタオルをプレゼントしてくれたことです。
- ◆ ホームステイで子供と遊んだこと。
- ◆ クラスメイトや留学メンバー、ワカコ先生やチャールズ、古村先生など出会いに恵まれたことです。
- ◆ ホストファミリーと川に行ったこと。
- ◆ 英語で話して通じ合えたこと。
- ◆ ニューヨーク研修や、毎日あったたくさんのホームワーク。
- ◆ 授業で仲良くなった中国人と一緒に昼食を食べに行ったことがとても楽しく、記憶に残っています。
- ◆ 家がでかくてびっくりした。
- ◆ 最後の UD での授業でお別れパーティーをした際、同じクラスの他の留学生や先生が激励の言葉をかけてくれたこと。
- ◆ アメリカフットボールの試合。アメフトの試合観戦は初体験で、その上生徒や観客が一丸となって盛り上がっているその雰囲気や、試合内容などとても楽しく思い出に残っている。
- ◆ アメリカンフットボールを観戦することができたこと。
- ◆ ホストファミリーとのスラングや恋愛話といった堅苦しさをない楽しい話で盛り上がったこと。

## 9. 留学の感想

- ◆ 英語を話すことが好きになった。ホストファミリーや現地のスタッフの方々や先生方には感謝しかありません。このような貴重な経験を通してこれからも、もっと流暢に話せるように精神したいと重います。
- ◆ 英語の授業がしっかりしていてよかった。とても勉強になった。午後はアクティビティがないと割と暇だった。アクティビティもいい加減なことが多く、もう少し充実させてもいいのではと思った。
- ◆ アメリカには本当にいろいろな人種の人がいるというのを改めて感じました。英語が話せると、その人たちの国の言葉を知っていなくてもいろんな国の人たちと話せるので、もっと英語の勉強を頑張りたいと思いました。
- ◆ 二回目ですが、新しい発見もあり、いろんな人と出会え、良い機会だったなと思いました。
- ◆ 大学が一つの町みたいに栄えてて、放課後はカフェに行ったりジムやゲームコーナーもあって毎日飽きずに楽しめた。週末は DC や NY にもいけてこのプログラムに参加して良かったと思った。
- ◆ 最初はすべてが不安で、3 週間もアメリカにいれるのかなと思っていただけ、行ってみたら帰りたくないと思えるほど有意義で楽しい研修だった。アジア以外の国に行くのが初めてだったので、本場の英語に触れて悔しい思いをしたことも数えきれないほどあったけれど、言語というものは伝えようとすれば伝わるし、気持ち次第なんだなと強く感じた。ホームステイもとても広い家で、かわいいベッドもいて毎朝朝ごはんもコーヒー付きで出てきて、一人暮らしには戻りたくないなあと毎日思っていた。また、一緒にいったみんなとも仲良くなれて、一緒にジムに行ったりショッピングに行ったりとても楽しい時間を 3 週間過ごせてうれしかった。費用が高いのがちょっと気になっていただけ、あのお金で 3 週間あんなに楽しめたなら、良かったのではないかと感じた。授業もずっと英語だから毎日頭も疲れるし、宿題も毎日出るしで、とても大変だったけど自分の身になったと思えた。今回の研修に参加できて本当に良かった。
- ◆ このプログラムを通してアメリカに行くこと自体結構勇気がいることでプログラムに参加することを迷っていました。ですが参加して本当に良かったと思えます。アメリカの大学生活に触れることやホストファミリーと会話したり、全部うまくいくことがなくても自分なりに伝えようとしていたり行動したので自分の成長に繋がりました。文化の違いを肌で感じる事ができたのは日本の英語の授業では絶対にできないことだと思います。
- ◆ とても充実していた。自分を変える上ですごく役にたった。

- ◆ ホストファミリーがとても優しくかったので、なにもストレスを感じることなく過ごせた。授業が思ったよりも易しかったが、宿題のことを考えるとちょうどよかった。午後のアクティビティも楽しかった。
- ◆ 周りの人のほとんどが初対面で話せるかどうか不安だったけどうまくやっていけてよかった。
- ◆ これからの自分に大きな影響を与えてくれた留学になった。この留学をきっかけにさらに様々なことに挑戦していきたい。
- ◆ 留学に行く前は不安で一杯でしたが、帰ってきたときには本当に言って良かったなと思いました。三週間という短い時間だったので、英語の上達はそれほどはつきりとは感じられなかったのですが、いろいろな人と出会い、壁にぶつかることで、「もっと英語を上達させたい！」というモチベーションにつなげることができました。それだけではなく、外国の方と日本について話すことで、「日本はこんな風に見られていたのか」と改めて自国を客観視することができました。
- ◆ 今回の短期留学で今までで経験したことないことをたくさん経験できた。ホームステイでは、優しい家族と大きな犬と毎日過ごして、英語力も伸びるが、自ら仲良くなろうとできたと思う。食事もアメリカの料理を手作りで作ってくれたり、アメリカでしかできない経験もさせてくれた。学校では、毎日のホームワークがとても大変で寝る間も惜しんでいたが、あれを毎日することでしっかりと英語も学ぶことができたので良かったと思う。全体を通して、行って後悔したことは1つもないし、また行きたいと思う。
- ◆ 僕はホームステイが一人で、最初はとても心細く寂しかったのですが、慣れてくると自分の伝えたいことを伝えられたり、相手の伝えたいことがわかるようになってりと、日に日に自身の成長を感じることができました。授業では中国人が多く、すぐに仲良くなりました。私は中国に対してあまり良いイメージを持っていませんでしたが、今回の留学でその考え方が変わりました。いろいろな人と出会い、触れ合うことで、今までの自分の固定観念が覆ったり、他国から日本を客観的に見たりすることができました。今回の留学では本当にたくさんのことを学ぶことができました。
- ◆ 毎日が楽しくて、住みたいなと思ったくらいです。
- ◆ とてもいい思い出になりました。学校もホームステイも日常生活も満足しました。
- ◆ とても充実した三週間でした。
- ◆ 毎日の生活が新鮮でとても楽しく英語はあんまりうまくは喋れなかったけど、とても楽しい経験をすることができました。
- ◆ 英語を使う機会がこれまでなかったため、瞬時に理解して言葉を話すことがとても難しくはじめはコミュニケーションが億劫になることもあった。しかし、自分



が相手の言葉を理解しようという姿勢を見せると相手も自分居合わせてゆっくりと話してくれたりわかりやすく話してくれたりしてくれ、すこしずつ自分から積極的に話しかけられるようになった。3週間というこの期間が、短いと感じるほど濃い内容の期間を過ごすことができた。この経験をしたからこそこれから、修得できるよう学んでいきたいと思ったとともに自分でもアメリカをはじめとする海外に行きたいという気持ちが強くなった。

- ◆ 3週間という短い期間の留学ではあったけれど内容はとても濃く良い経験をすることができました。初めて触れる異文化や他言語に戸惑うことも多くあったけれど授業の先生もホームステイ先のファミリーもとてもやさしくて途中からなれることができ、楽しく過ごせました。この留学だけで終わらないようにこれからも英語を勉強していつかもう一回デラウェアに行きたいなと思っています。
- ◆ 長崎大学での生活では絶対に味わえない刺激的な日々を送れてとても満足している。言って終わりにするのではなくこの経験を生かせるようにしたい。